

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 京田辺市

プロジェクト名	産業育成プロジェクト ～本市の強みを生かした産業を育成する～	実施期間	平成26年度～ 平成28年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本市は、これまで都市部への交通利便性などに優れた地理的特性を生かしたまちづくりを進め、良好な住環境、事業環境が整備され、人口増加とともに地域経済も発展を遂げてきた。しかし、近年のグローバル経済の拡大や長引く景気の低迷から、今後の地域経済にこれまでのような自然的発展を見込むのは難しい状況にある。</p> <p>本市の中小企業は長年培った経験や高い技術力、玉露をはじめ国内外で高い評価を得ている特産品等の強みを持ちながらも、取引先が固定化傾向にあり、さらに新たなマーケティングや販路開拓を独自で行うのは難しい。これらの強み生かした新製品の開発や、国内外を問わず新しい取引先の開拓等の新たな取り組みにより現状を打破し、中長期的な戦略をもって産業振興施策を展開していかなければならない。</p> <p>また、本市中心駅周辺の商店街には大型店舗への顧客の流出や近隣住民や担い手の高齢化等の影響を受け、近年空き店舗が目立ってきているが、その一方で商店街と地域住民、学生等が一体となり、商店街ににぎわいを取り戻すため、新たな取り組みも実施している。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>長年培った経験や高い技術力、同志社大学などの知的財産、京田辺玉露をはじめとする質の高い農産物等の本市の強みを生かした産業を育成し、本市の持続的な発展につなげる。</p> <p>また、市内企業の新製品の開発、産学連携や、京田辺市売り込み隊による各種展示会等での活動、商店街空き店舗を利用した本市らしい取り組みの支援、普賢寺地域活性化に向けた取り組みへの支援を行う。</p>						
	総事業費（千円）	120,000	本年度事業費（千円）	22,746	交付金額（千円）	8,423	
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	産業振興ビジョン策定事業	交付対象事業	市民、企業、行政、関係機関が共有する市産業の目指すべき姿とその実現に向けた重点施策を示すもの。2か年で策定し、5か年の計画期間で具体的施策を実施する。		市民アンケート(2,000名)、事業所アンケート(1,751所)、農業者アンケート(2,000名)、近隣市町村在住者インターネットアンケート(520名)を実施した。また、各産業に関連する企業、業界団体等に、京田辺市の事業環境、行政への要望、将来の展望等のヒアリングを実施した。		
	中小企業売り込み隊プロジェクト	交付対象事業	市・京田辺市商工会・市内企業で京田辺市売中小企業り込み隊を結成し、国内・海外の商談会・展示会に合同出展するもの。		市・京田辺市商工会・市内企業で結成した京田辺市中小企業売り込み隊で、けいはんなビジネスメッセ2014、日中ものづくり商談会@上海2014、異業種連携京都まつり2014、メッセナゴヤ2014、スーパーマーケットトレードショー2015に出展した。		
	中小企業成長支援事業	交付対象事業	競争に打ち勝つ強い中小企業を育てるため、新製品開発、産学連携、産業財産権取得、展示会出展、専門家の派遣等に対して補助を行う。		産学連携事業2件、新製品開発6件、展示会等出展事業17件、産業財産権取得事業3件、計28件の事業に対し補助金計3,729千円を交付した。		
	普賢寺地域活性化事業	交付対象事業	農家の高齢化、担い手不足、耕作放棄地の増加が問題となっている普賢寺地域において、新たな特産物創出への支援、地域活性化イベントへの支援、耕作放棄地解消に向けた事業への支援を行うもの。		共同利用資材等整備事業10件、研修事業3件、農業技術保存事業1件、地域環境改善事業1件、計15件（2,796千円）に対して支援した。		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 京田辺市

住民協働事業	茶品評会『産地賞』奪還事業	交付対象事業	十年以上遠ざかっている全国茶品評会『産地賞』奪還に向け、出品者の出品経費の負担軽減を図るもの。また、茶摘みボランティアを募集し、一体となって支援するもの。	出品者の出品経費の負担軽減や、出品茶支援隊として54名の茶摘みボランティアの協力を受け、全国茶品評会での玉露産地賞2位となった。	
	商店街空き店舗を活用した地域活性化事業	交付対象事業	キララ商店街空き店舗を借り上げ、同志社大学等と連携して商店街の活性化を図るもの。	新田辺東側キララ商店街の空き店舗を利用・提供し、同志社大学プロジェクト科目によるキララ商店街の活性化を図る取り組みを支援した。	
	商店街にぎわい創出支援事業	交付対象事業	商店街の活性化を図るイベント事業や研修等調査事業、学生等と協働で実施する活性化事業等に対して支援するもの。	商店街における、空き店舗活用にぎわい創出事業（1件520千円）・イベント事業（2件500千円）・研修調査事業（3件150千円）・商工業活性化協働事業（1件15千円）への活動支援を行った。	
	京田辺市特産品PR事業	関連事業	本市への寄附に対して、特産品である玉露や玉露茶器セット、たけのこ・田辺なす・えびいもなどの野菜、観光協会認定の一休品、同志社大学関連商品などを進呈するもの。	平成26年度寄附件数166件。市外県外の寄附者に対して、本市ならではの特産商品を進呈した。	
	京田辺一休バル	関連事業	市内飲食店を中心としたチケット制の飲み食べ歩きイベント	市内の飲食店を中心に67店舗が参加し、2,536枚のチケットを販売した。同志社大学政策学部や大学フラダンスサークル等も実行委員となり、各種のイベントを合わせて行った。	
住民が取り組む事業	京田辺玉露PR事業	関連事業	茶業青年団が募集・オーディションを行い結成された玉露レディによって、各種イベントやSNSを通して京田辺玉露を全国にPRするもの。	年間を通して、市内で開催されるイベントやお茶に関する事業等に参加し、京田辺玉露のふるまいや玉露や抹茶のスイーツ販売等に携わり、京田辺玉露を全国にPRした。	
成果指標①	成果指標の目標数値	売り込み隊商談件数 500件		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	993件 (平成26年出展分)
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標数値を大きく上回る実績であったため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	ふるさと京田辺応援寄附件数 100件		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	166件 (平成26年度末時点)
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標数値を大きく上回る実績であったため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>・各中小企業が単体で展示会に出展するのではなく、「京田辺市中小企業売り込み隊」として、展示会でのブースセッティングから商品の見せ方、商談後のアフターケア等成約へつなげるコツ等を事前に研修し、京都ブランドも生かして各種展示会に出展することによって成果指標の達成に大きく寄与した。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 京田辺市

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京田辺一休バルを通じて、市民に市内店舗をより身近感じてもらうことで市内消費を促すきっかけとなった。</li> <li>・京田辺市らしい特産品を寄附者に進呈することで、本市への関心の向上とお礼の特産品に関連する商品への関心を向上へとつながった。</li> </ul>
	府と市町村等との連携に資する成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新産業創出交流センター」に対する支援を通じて、関西文化学術研究都市で生まれた研究成果の事業化・産業化を推進し、新産業の創出を図るとともに、地域のベンチャー企業や中小企業などの活動を支援した。</li> </ul>
	住民の自治意識を高める成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街にぎわい創出支援事業の実施により、商店主の資質向上・経営強化を支援するとともに、地域商業の活性化によるにぎわいのあるまちづくりを推進した。</li> <li>・商工会や市内店舗、大学生やNPOが中心となって「京田辺一休バル」を実施し、過去最多の参加店舗数とチケット販売数となり、地域の活性化を推進した。</li> </ul>
	広域的波及成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外県外の寄附者に対して本市ならではの特産商品を進呈・PRすることを通じて、本市への関心及びその他の地元名産品への関心を高め、市内産業の活性化へとつなげることができた。</li> <li>・本市の特産品である玉露の魅力を、各種イベントやSNSなどを通して若い女性グループが全国に発信することにより、より幅広い層にPRすることができた。</li> </ul>
	その他の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業の産業振興や新産業創出、起業家の育成支援を行うため、同志社大学に産学連携コーディネーターを委託し、学研都市内研究機関や市内に事業所等を置く企業との連携を進めた。</li> <li>・D-eggに入居者の入居費の一部を助成し、同志社大学等の知的財産を活用した起業家育成、市内企業等の新産業創出による産業活性化を図った。</li> </ul>